

平成28年度「大阪市中学校3年生統一テスト」検証シート

実施日 平成28年10月6日(木)

学校名	大阪市立放出中学校
-----	-----------

生徒数(人)	143
--------	-----

平均正答率(点)

	国語	社会	数学	理科	英語
学校	65.4	59.3	55.5	59.0	62.3
大阪市	65.4	54.4	56.0	55.0	61.2

結果の概要

社会が4.9ポイント、理科が4.0ポイント、英語が1.1ポイントと大阪市平均を上回っている。国語は大阪市平均と同ポイントであったが、数学については大阪市平均を0.5ポイント下回っている。正答率においても、概ね良好な結果となっている。大阪市平均との比較では良好といえる。今後は経年比較における安定したポイントアップにつながる取り組みを進めなければならない。

成果と今後取り組むべき課題

本校は基礎学力の定着と向上を目指して、日々の授業の工夫ならびに基礎的・基本的事項の繰り返しの徹底を図ってきた。今後も引き続き本校としては以下の事項を取り組み、府平均との比較における安定したポイントアップを目指す。

- ・個に応じた授業の充実や学力向上に向けた習熟度別少人数授業の指導法・指導形態の研究と実践に取り組む。
- ・担当者での協議会を持たせ、全学年での習熟度別少人数授業等の内容を充実させる。
- ・日常の授業から教材の見せ方を工夫させ、高い利便性・日常化しやすいタブレットなどのICT活用をきっかけとした授業改善により、学習効果をあげる。
- ・学習教材データの充実活用を浸透させ、教員の負担軽減を進める。また、教員が生徒や保護者と向き合う時間確保につなげることで、一層保護者連携を深める。
- ・学校元気アップの定例学習会、図書館開放など学習活動支援への積極的参加を推進する。
- ・C-NETを活用し、言語力や表現力の観点を積極的に盛り込む。

教科指導のみにとどまらず、クラブ指導・校内行事等への参加をすすめ、異文化体験・協働学習や個別学習の充実を図る。

- ・主任層・メンターを中心とした細やかな日常的なサポート・指導・相談体制の確立に努め、若手教員育成のための校内体制充実を図る。相互授業参観週間や校内研究授業を通し、若手教員の授業力向上への意識強化を進める。
- ・英語においては「語彙力の充実」「表現力の充実」を図るためにTOEIC Bridge(中学生に適したTOEICテスト)プログラムを英語科中心にして全学年で取り組み、年1回のテストを校内で受験させる。
- ・3ヵ年を通じた「キャリア教育」の充実により将来の夢や希望を持たせることにより学習意欲の向上を図る。
- ・道徳教育の充実や支え合える集団づくり、きめ細かな教育相談体制の確立により学力向上の前提としての規範意識の向上、授業規律の確立をめざす。

部活動を充実させることにより、自己肯定感を向上させ何事にも前向きな姿勢をもつ生徒集団をつくる。